

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 1 の 11

1 化学品及び会社情報

製品識別名

EP310N-B

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

接着剤、密封材

安全データシート作成者の詳細

会社名称: Hottinger Brüel & Kjaer
街路名: Im Tiefen See 45
住所: D-64293 Darmstadt
電話番号: +49 (0)6151 803-0
インターネット: www.hbm.com
担当部門: support@hbm.com

警察署・消防署への非常通話番号: +49-30-18412-0

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

EC 規制 No. 1272/2008

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の刺激. 2

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気。

強い眼刺激。

ラベル要素

EC 規制 No. 1272/2008

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気。

H319 強い眼刺激。

危険の予防

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/防護衣/保護眼鏡/保護面/防音保護具/を着用すること。

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 2 の 11

特別調合剤の例外ラベル

専門的な使用者に限定。

Labelling of packages where the contents do not exceed 125 ml

注意喚起語:

危険

危険有害絵文字:



他の危険有害性

高い可燃性。

蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
28064-14-4	2-(chloromethyl)oxirane; Formaldehyde; Phenol	80 - < 85 %
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone	15 - < 20 %
	Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 3; H225 H319 H336 EUH066	

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

SCL、M-factor 及び/又は ATE

CAS番号	EC番号	化学名	数量
		SCL、M-factor 及び/又は ATE	
67-64-1	200-662-2	acetone; propan-2-one; propanone	15 - < 20 %
		吸入: LC50(50%致死濃度) = 76 mg/l (蒸気); 経皮: LD50(50%致死量) = 20000 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = 5800 mg/kg	

詳しい情報

情報は何もない。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

一般情報

当事者を、危険区域から連れ出し、寝かせること。意識不明だが呼吸している場合には、回復体位を取らせる
と共に医学的助言を仰ぐこと。応急処置: 自己防護に留意すること!

吸い込んだ後に

疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。新鮮な空気を入れること。気
道に刺激がある場合は、医者にかかること。

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 3 の 11

皮膚に付着した後に

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚に刺激がある場合は、医者にかかること。

目に付着した後に

眼に触れたときは、直ちに、瞼を開けた状態で10~15 minの間、眼を流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

葛下後

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。被災者が意識不明かまたは痙攣症状がある場合は、決して口から物を与えないこと。無理に吐かせないこと。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

情報は何かもない。

緊急治療および特別処置が必要な兆候

症状に応じて処置すること。情報は何かもない。

5 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

水のジェット噴霧, 乾式消化剤, 泡

使ってはならない消火剤

棒状注水

物質または混合物特有の危険有害性

高い可燃性。

蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。

消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置**人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置****全般的な注意事項**

応急処置: 自己防護に留意すること!

すべての発火源を除去すること。十分に換気をする。

蒸気は、空気と比較して比重が大きく、床上を拡散し、空気と爆発性混合気を形成する。

ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。

個人用の保護具を使用すること。

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 4 の 11

環境に対する予防措置

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。爆発危険性 下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

封じ込めおよび浄化方法と機材**その他参考となる事項**

液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。機械で拾い上げ、適切な容器に入れて、処理に持っていくこと。液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7
個人用保護具: 参照箇所 節 8
廃棄物処理: 参照箇所 節 13

個人用保護具: 参照箇所 節 8

7 取扱い及び保管上の注意**安全な取扱いのための予防措置****安全取り扱い注意事項**

一ヶ所での吸引が不可能もしくは不十分ならば、可能な限り作業区域の換気をよくすることが、保障されるべきである。

発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。

熱源から遠ざけておくこと（例えば、高温の表面、火花、開放火災）。

火災および爆発防護に関するアドバイス

発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。静電気対策を講じること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

扱いに関する追加的情報

人身用防護装備を身に付けること（第8章を参照）。下水道に流入させないこと。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件**倉庫と容器の需要**

容器は、密閉した状態を保つこと。容器は、涼しく換気のよい場所で保管すること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。容器は密閉し、換気のよい場所で保管すること。

共同貯蔵に関する注意事項

（以下のもの）と一緒に貯蔵してはならない: 酸化性物質 爆発性の物質/混合物および爆発性物質を含む製品
引火性物質、急性毒性区分1および区分2/非常に有毒な物質

保管状態に関する追加情報

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しく乾燥した場所で貯蔵すること。

8 ばく露防止及び保護措置**管理パラメーター**

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 5 の 11

物質の許容濃度（日本産業衛生学会）

CAS番号	物質名	ppm	mg/m ³	繊維/ml	範疇	起源
67-64-1	アセトン; Acetone	200	470		許容濃度	

生物学的許容値（日本産業衛生学会）

CAS番号	物質名	物質	生物学的許容値	試料	試料採取時期
67-64-1	アセトン; Acetone	アセトン	40 mg/l	尿	作業終了前2 時間以内

極限值に関する追加説明

情報は何もない。

曝露防止



適切な工学的制御

包装していない製品を取り扱う際は、できる限り局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。

使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生可能性がある。

防爆型の電気機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

保護・衛生対策

作業時には、飲食をしてはならない。

ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。

皮膚に接触した場合、汚れて濡れた衣服を直ちに脱いで、多量の水とせっけんで洗い流すこと。

適切な保護衣/保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！

眼/顔面用の保護具

保護めがね/顔面保護具を着用すること。

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。EN ISO 374

化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。

手袋の材質の厚さ: $\geq 0,7\text{mm}$

適切な手袋の種類 NBR (ニトリルゴム)

破過時間: $>480\text{ min}$

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚の保護

使用した作業服は、作業場所の外で着用するべきではない。

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 6 の 11

作業服は分けて保管すること。

靴および作業着は、帯電防止加工のものを着用すること。

呼吸器の保護

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。フィ

ルターのついた濾過装置（全面マスク、または口当て）：a

呼吸保護具は、製品を取り扱うとき、発生する可能性がある有害物質の最大濃度（ガス、蒸気、エアロゾル、粒子）に見合う等級のフィルターを使用すること。この濃度を上回るときは、自給式呼吸保護具を利用すること。

環境における露出管理

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

その製品の蒸気は空気よりも重いので、床の上、坑、下水道や地下室の中に、高濃度で溜まり得る。

9 物理的及び化学的性質**基礎物理および化学特性の情報**

物質の状態:	液体の
色:	無色
臭い:	樹脂
pH値:	確定されていない

状態の変化

融点/融解範囲:	確定されていない
沸点また初留沸点及び沸騰範囲:	56 °C
昇華点:	確定されていない
軟化点:	確定されていない
流動点:	確定されていない
確定されていない:	
引火点:	< -20 °C
可燃性の継続:	データなし

引火性

固体/液体の:	非該当
ガス:	非該当

爆発特性

しない 爆発の危険がある に従って EU A.14

爆発下限:	2,5 体積%
爆発上限:	14,3 体積%
発火点:	535 °C

自然発火温度

固体:	非該当
ガス:	非該当
分解温度:	確定されていない

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 7 の 11

酸化特性

燃焼を促進しない。

蒸気圧: 246 hPa
(で 20 °C)

蒸気圧: 814 hPa
(で 50 °C)

密度 (で 20 °C): 1,08 g/cm³

仮比重: 確定されていない

水溶性: 物質は水に不溶性であることが知られてい
るので、試験を実施する必要はない。

溶媒に対する溶解性

確定されていない

n-オクタノール/水分配係数: 確定されていない

絶対粘度: 確定されていない

動粘度: 確定されていない

流出時間: 確定されていない

相対蒸気密度: 確定されていない

蒸発速度: 確定されていない

溶剤分離試験: 確定されていない

溶剤の成分: 17,70 %

その他の情報

固形分濃度: 確定されていない

10 安定性及び反応性**反応性**

高い可燃性. 情報は何もない。

化学的安定性

この物質は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応性の可能性

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

避けるべき条件

熱源から遠ざけておくこと（例えば、高温の表面、火花、開放火災）。蒸気は、空気とともに爆発性の混合
物を形成し得る。情報は何もない。

不適合物質

情報は何もない。

危険有害性のある分解生成物

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 8 の 11

11 有害性情報

毒性情報

生体内での代謝と分布

情報は何もない。

急性毒性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

情報は何もない。

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone				
	経口の	LD50(50%致死量) 5800 mg/kg	ネズミ	RTECS	
	皮膚の	LD50(50%致死量) 20000 mg/kg	イエウサギ	IUCLID	
	吸い込んで (4 h) 蒸気	LC50(50%致死濃度) 76 mg/l	ネズミ		

刺激性及び腐食性

強い眼刺激。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

情報は何もない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

情報は何もない。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

情報は何もない。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

情報は何もない。

動物実験における具体的な結果

情報は何もない。

テストに関するその他のインフォメーション

この混合物はEC指令No 1272/2008 [CLP]において、危険性を有すると評価される。

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 9 の 11

実務での験

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

12 環境影響情報

毒性

@1501.B015603

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 5540 mg/l	96 h	Onchorhynchus mykiss		
	ミジンコ毒性	EC50 6100 mg/l	48 h	Daphnia magna		

残留性と分解性

情報は何もない。

生物蓄積性

情報は何もない。

n-オクタノール／水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone	-0,24

土壌中の移動度

情報は何もない。

その他の有害な影響

情報は何もない。

詳しい情報

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。地下/土壌に至らせてはならない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄の勧告

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

汚染した包装

未浄化の空容器には、空気と爆発性の混合物を形成する製品ガスが含まれているおそれがある。

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

UN番号:

UN 1133

安全データシート



EU規定No. 1907/2006に拠る

EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 10 の 11

正式の国連輸送名: Adhesives

輸送における危険有害性クラス: 3

包装等級 (P G) : III

危険物ラベル: 3



特別な設備: 223, 955

量制限: 5 L

微量: E1

EmS: F-E, S-D

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号: UN 1133

正式の国連輸送名: Adhesives

輸送における危険有害性クラス: 3

包装等級 (P G) : III

危険物ラベル: 3



特別な設備: A3

量制限-乗客: 10 L

Passenger LQ: Y344

微量: E1

IATA梱包方指示-乗客: 355

IATA最大数量-乗客: 60 L

IATA梱包指示 (貨物機): 366

IATA最大数量 (貨物機): 220 L

環境危険有害性

環境に有害である: はい



危険物質: Novolack Epoxidharz

使用者のための特別な予防措置

警告: 可燃性液体.

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



EP310N-B

加工された日付: 15.09.2022

ページ 11 の 11

国内規定情報

従業員制限: 若年層への従業員制限に注意する。
妊婦及び授乳中の母親の従業員制限に注意する。
妊娠可能年齢の女性に当てはまる職業上の制限に注意。

水に与える有害性等級（ドイツ）: 2 - 水を汚染する

皮膚吸収/感作: アレルギー性過敏反応を起こします。

16 その他の情報

略称と頭字語の説明

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
(European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service

LC50: Lethal concentration, 50%

LD50: Lethal dose, 50%

GHSによる混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Flam. Liq. 2; H225	試験データを基にした
Eye Irrit. 2; H319	算出方法

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H225 引火性の高い液体及び蒸気。

H319 強い眼刺激。

H336 眠気又はめまいのおそれ。

EUH066 繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。

(危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました。)